

心ゆたかに

発行株式会社天峰建設 袋井市横井 115-3
TEL0538-43-6773 FAX0538-43-7250
ホームページ 天峰建設で検索を
Eメール tenpou@mail.wbs.ne.jp

第 169 号 発行日 令和 6 年 1 月 1 日

新年のご挨拶

旧年中は各御寺院様、御団体、多岐にわたって公私共に大変お世話になりました。本年も変わらぬご愛顧のほど何卒宜しくお願い申し上げます。

昨年からの物価高騰の影響により、建築資材全般が値上がりしています。そのため、建物の価格が20%ほど値上がりしているのが現状です。寺院建築は浄財を出して下さる檀信徒のお陰により成り立っています。

生活費も高騰しているなかで、浄財を出して下さる檀信徒の想いを理解し喜んでいただけるよう、より一層精進し建物が後世まで引き継がれる仕事をしたいと考えています。宮大工の使命だと感じています。アフターメンテナンスが必要になります。弊社としては本年より、建築から10年を経過した御寺院様を中心に「無料点検」を実施させていただきます。床下や天井裏など、普段目にする事ができない箇所を主に点検して参りたいと思います。

定期的に点検をすることで、建物の劣化を最小限に抑え築年数に応じたメンテナンスを行なうことで建物は長持ちをします。特に本堂は軒先を深く出すことにより、外壁面に雨を当たりにくくし、なるべく建物が劣化しないような構造になっています。そのため、国宝である法隆寺のように年数に応じた修繕工事をしていくことで後世まで想いと建物が引き継がれていきます。

そのためには、若い宮大工の育成が欠かせません。職人不足が深刻な問題となっています。1985年に約80万人いた大工が2020年には約30万人まで減少しています。大工人口が一番多い世代が60歳〜75歳と高齢化しており大工人口全体の36%を占めています。職人不足はより深刻化していきます。そのような状況ではありますが、4月より宮大工になりたいという高い志をもった女性2名が入社します。一人前の宮大工として成長できるよう教育をしていき、一人でも多くの宮大工を後世に残していきたいと思えます。

お客様との良縁を大切に、天峰建設の経験と技術で、お客様や時代に寄り添うことができる会社作りをしていきます。お客様の歴史に天峰建設という名が残っていくことに、一層自覚をもち

「天峰建設で建ててよかった」と、喜んでいただけるよう社員一同協力して参ります。今までの良縁を大切に、これからの良縁を愉しみながら人をつくり人を残せるより良い会社づくりができるよう精進してまいります。

どうぞご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

